

こんにちは



議会です!

きたもと議会だより

姉妹都市提携20周年記念
会津坂下町訪問交流事業



上宇内薬師堂（会津坂下町）前で撮影

めざせ日本一、子育て応援都市宣言
に関する決議を全会一致で可決

議会だよりの表紙写真を募集します

(12月9日締切)

応募規定

テーマ：北本の風景(人物の入っているもの)
規格：プリント写真(L版以上)、
または
デジタルデータ(JPEG形式)
応募資格：北本市在住、在勤の人

応募上の注意

応募は1人1点までとします
作品は未発表のものに限ります
人物が特定できる場合には、本人に掲載の許可を得てください
応募作品は、返却いたしません
採用作品については、写真のタイトル及び撮影者名を掲載します(匿名での掲載をご希望の場合はその旨をお知らせください)
採用作品の著作権は、市議会に帰属します

応募方法

撮影者の住所、氏名、撮影場所、タイトルを明記のうえ、議会事務局までご応募ください

選考

議会だより編集委員会が選考を行います

お問い合わせ先

議会事務局(市役所第2庁舎2階)
TEL: 048-594-5560
Mail: a04300@city.kitamoto.saitama.jp

主な内容

9月定例会・・・
一般質問・・・
委員長報告・・・
提出案件の結果等・・・

会期日程

8月29日(月)本会議(開会)
8月30日(火)議案調査日
8月31日(水)議案調査日
9月1日(木)議案調査日
9月5日(月)本会議(総括質疑)
9月6日(火)本会議(委員会付託)
9月7日(水)委員会(保健福祉・建設経済)
9月8日(木)委員会(総務文教)
9月9日(金)委員会(保健福祉・建設経済)
9月12日(月)委員会(総務文教)
9月14日(水)本会議(一般質問)
9月15日(木)本会議(一般質問)
9月16日(金)本会議(一般質問)
9月20日(火)本会議(一般質問)
9月22日(木)本会議(閉会)

No 78

平成23年(2011)11月1日発行
編集 議会だより編集委員会
発行 北本市議会
北本市本町1-111
TEL 048-591-1111
FAX 048-591-6335
www.city.kitamoto.saitama.jp/

9月定例会

平成22年度 一般会計 特別会計 歳入歳出決算を認定

8月29日から9月22日までの25日間の会期で開かれた定例会では、市長提出議案31件、議員提出議案1件を慎重に審議しました。特に、新庁舎建設に伴い、市役所周辺地域における行政・文化施設の用途規制の緩和を内容とする、北本市行政・文化拠点特別用途地区建築条例が提出され、挙手全員により可決しました。なお、施行日は平成24年1月1日となります。

今定例会で審議された市長提出議案のうち、質疑がなされた議案について、その主なものを掲載します。

議案第41号 平成22年度北本市一般会計歳入歳出決算の認定について

総括質疑通告者

- 横山 功(平成会)
- 桂 祐司(無所属の会)
- 高橋節子(民主北本)
- 中村洋子(日本共産党)
- 現王園孝昭(政策北本)
- 島野和夫(公明党)
- 工藤日出夫(市民の力)

通告順に掲載

Q、小・中学校の耐震化並びに学校環境の整備について

A、平成22年度は、栄小学校屋内運動場、西小学校校舎、北本中学校校舎、西中学校校舎の耐震化及び大規模改修を行い、安全・安心な学校環境の整備に努めました。

小・中学校の校舎については、市内すべての施設が広域避難所に指定されており、子どもたちの学習の場としてだけではなく、地域の避難所としても大変重要な役割を担っていますので、早期の耐震化が望まれているところです。

現在は、耐震性の低い学校から順次補強工事を実施しており、国の有利な補助金を活用し、平成22年度は4校の耐

震化が図られたことにより耐震化率は9・1ポイント上昇し、55・1%となりました。

今後、計画的に工事を行い、平成26年度には、耐震化率が100%となるよう対応していきたいと考えています。

学校環境の整備については、耐震補強工事と同時に実施している大規模改修工事により校舎の全面的な改修を行っています。

改修工事の内容としては、校舎内外装の全面改修、トイレの改修、エアコンの設置、太陽光発電設備の設置などで児童・生徒が安全に利用できる学校施設の整備に努めています。

議案第65号 平成23年度北本市一般会計補正予算(第3号)

Q、新庁舎建設にかかる委託業務のスケジュールについて

A、今回は、庁舎建設実施設計地質調査業務、庁舎敷地の高低測量の3つの業務を予定しています。

これらの業務のスケジュールについては、最速で10月中旬に高低測量を発注し、10月末頃に地質調査を発注します。11月の中旬には、現在の基本設計がまとまってくるので、速やかに実施設計に移行できるように進めたいと考えています。



耐震化された西中学校校舎

【紹介】

今定例会において同意されました方々を紹介いたします。

教育委員会委員

住所 北本市西高尾6丁目185番地

氏名 西村裕一氏

固定資産評価審査委員会委員

住所 北本市栄7番地1144106

氏名 大道アサ子氏

北本市議会津坂下町訪問

北本市と会津坂下町は姉妹都市を提携しています。

今年には北本市制40周年、会津坂下町姉妹都市20周年の記念年にもあたり、北本市から訪問を実施しました。

東日本大震災の影響も最小限に対応でき、放射能の影響もなく、まずはホッとしたところです。

頑張れ「福島」、農産物などが風評被害にあり、心配の種は続きますが、北本市も震災直後から連絡を取り、情報の交換をしていました。

このような中、新人議員も含め、初めて訪問された人が多く姉妹都市交流の実をあげられました。

市政に対する一般質問

一般質問とは、議案と関係なく市の行政事務の状況や将来に対する方針などをたずねるもので、定例会に限って行われます。

質問を希望する議員は、あらかじめ質問事項を

通告し、執行部の答弁を求めます。

今定例会では、16人の議員から67件118項目について質問がありました。

その中から主なものの答弁を掲載しました。

聴覚検査

問1 聴覚検査の実施について

答1 聴力は、コミュニケーションにとって重要な要素であり、難聴は、人々とのコミュニケーションが不自由となり、意欲の低下

や閉じこもりがちとなる生活不活発病、あるいは寝たきり、さらに認知症など引き起こす要因のひとつであるとも考えられ、聴力検査は重要なものと認識しています。

現在、埼玉県内では鶴ヶ島市と坂戸市の2市のみで検査の実施がされている状況ですが、聴覚検査の導入については、桶川北本伊奈地区医師会や、医師会を同

じくする桶川市、伊奈町等との調査研究していく必要があるものと考えています。



給食費

問1 無料化は

答1 法律（学校給食法及び同法施行令）によって、学校給食に必要な施設や設備は学校設置者の負担、それ以外の経費は給食を受ける児童・生徒の保護者の負

担とされています。

兵庫県相生市のように、少子化対策や子育て対策として、給食費補助を行っているところもあります。

しかし、基本的には、食料費相当分は保護者に負担していただくものと考えています。

問2 食材費について

答2 小学校の給食費の保護者負担額については、毎月3,900円です。中学

校は、毎月4,500円です。

問3 給食費の未払いは

答3 市内の小学校の合計額で約46万円程です。中学校の合計額は約159万円程で、平成22年度は21年度より改善されています。



9月定例会 一般質問

質問通告順に掲載

伊藤堅治（平成会）

・石戸城復元と石戸宿地域のまちづくり

・天神下グラウンドのトイレの利用時間

・シルバー人材センター支援
他2件

滝瀬光一（平成会）

・県道さいたま鴻巣線（北本市高尾）の整備事業の進捗状況と今後の取組み

・荒川高尾橋の整備

・保育所の定員充足率及び年齢別待機児童数の推移と公立保育所の今後
他2件

現王園孝昭（政策北本）

・北本市の今後の財政運営に当たっての基本的な考え方

・平成22年度決算と今後の財政予測

・公共事業における市内経済活性化策
他5件

中村洋子（共産党）

・北本市平和を考える実行委員会
・今年度の工夫と今後の予定

・国保税減税を求めて
・ヤオコー交差点付近の道路整備を求めて
他1件

バス路線の整備

問1 新路線について

答1 名称は北本東口循環で、北本駅東口から主にス

トツカー前・商工会館前・北本健康増進センター前・グリコ工場前・三国ココロラ前・南部公民館入口・

東小学校入口など15ヶ所に停留所があります。

朝6時から12時台までは商工会館の方からグリコ工場回り、午後2時台から8時台までは逆回りで二ツ家先回り、平日は25便、土日祝日は20便運行しています。

また、料金は均一料金制で、大人190円・小学生100円・未就学児童は無料となっています。



9月1日から運行を開始した北本東口循環バス

問2 東口北側の交通空白地域の見直しについて

答2 コミュニティバスの導入を考えますと、鴻巣市や桶川市とも、収入が経費を大きく下回っている状況から、本市におきまして、財政負担が見込まれます。デマンドバスを効果的に運用することで、市内の交通空白地域への対応とともに、高齢者や障がいのある方へ対応できるよう運行実績を見ながらさらなる充実を図っていきたいと考えています。

住民票等のコンビニ交付

問1 サービスの目的について

答1 市民サービスの向上と経費の削減を図ることを目標としています。

問2 サービス利用のカード発行について

答2 平成23年8月31日現在で、住民基本台帳カードは4,615枚発行しています。このうちコンビニ交付サービス利用の登録をしているカードは2,610枚となっています。

問3 コンビニでの交付件数について

答3 平成23年4月から8月までの集計で、住民票の写しが128通、印鑑登録証明書が122通です。全

発行数に占めるコンビニ交付の割合は、住民票の写しが発行数1万1,158通のうち1.1%、印鑑登録証明書が発行数8,280通のうち1.5%となっています。

問4 取得した場所の状況は

答4 発行枚数ではなく取得者単位の集計の結果となりますが、住民票の写しが市内取得65.8%、県内

取得28.9%、県外取得5.3%、印鑑登録証明書が、市内取得64.3%、県内取得25.0%、県外取得10.7%となっています。この状況から見ますと、市外での取得が3割を超えていますので、取得できる時間、場所等の拡大が図れ、サービスの向上につながるものと考えています。

- ・ 工藤日出夫（市民の力）
- ・ ファーストクラスのまち
- ・ 観光100万人都市宣言

高橋節子（民主北本）

- ・ 行政のチェック体制と市民への開示
- ・ 放射性物質の影響
- ・ 保育事業の今後

他2件

大澤芳秋（政策北本）

- ・ 個人市民税減税の継続
- ・ 小学校の外国授業
- ・ 関東グリコ株式会社北本ファクトリーにおける従業員採用計画の情報

他1件

湯澤美恵（共産党）

- ・ 「観光100万人都市宣言」
- ・ 給食費の無料化
- ・ 中央図書館の「こどものほん」コーナーの位置付け

他1件

保角美代（公明党）

- ・ ゲリラ豪雨時の雨水対策
- ・ 高齢者の難聴の早期発見
- ・ 乳がんの早期発見

他1件

埼玉B級ご当地 グルメ王決定戦

問1 市制施行40周年事業

の一環として行われるわけ
だが、北本の出品作品の選
定はどのようにするのか

答1 市民の皆様へ公募し
たところ、24作品の応募を
いただきました。

市内飲食店・商工会・料
理研究家の方々に、一次審
査で選ばれた5作品を実際
に試食・審査をいただいた
結果、北本トマトカレーラ
イスが高い評価を受けて選
定されました。

この「北本トマトカレー
ライス」はコンテストのレ
シピのままではなく、市内
の飲食店、商工会の皆様に
ご協力いただき、改良して
出品したいと考えています。

問2 北本トマトカレーラ
イスであるための基準をど
のように設けるのか

答2 B級グルメであるた
めには、市内で広く食べら
れることが重要ですが、こ
の名前が使える基準として
ライスにトマトが入ってい
ること、ルーにトマトが入
っていること、トマトがト
ッピングされていることの
3つを基準としたいと考え
ています。そして、各飲食



出品作品として選定された「北本トマトカレー」

放射性物質

問1 浄水場、下水処理場

焼却場などの現状はどうか
答1 浄水場の放射線の影
響については、6月、7月

に2回、8月以降は月1回
ペースで測定しました。3
月の測定で、国の指標を下

回るヨウ素131が検出さ
れたもののその後はいずれ
も不検出で、上水に関して
は、安全な状況が続いてい
ているとのことです。下水
処理場の現状は、焼却前の
脱水汚泥についての放射性
物質濃度が50万ベクレルを

継続的に超える場合には、
最新の集塵装置をつけるな
ど、適切な能力を確保して
処理することが必要とされ
るが、本市の公共下水道の

汚水については桶川市にあ
る埼玉県荒川循環センター
にて汚水処理されておりま
す。当センターでは、現在
282トンの焼却灰が保管
されているとのことです。

8月18日に採取した下水
道汚泥等の放射性物質濃度
については、汚泥では、ヨ
ウ素131は32ベクレル、セ
シウムは134、137合
わせて96ベクレル、また焼
却灰では、ヨウ素は不検出、

セシウム134、137は
合わせて3000ベクレル
という測定結果であったと
のことです。この値は、環
境省が6月23日に示されま
した基準値である8000
ベクレルを大きく下回って
おり、これまでどおりの処
分が可能となっておりますこ
とでございます。引き続き
月1回測定を実施し、公表
していくとのことござい
ます。

高橋伸治（市民の力）
・ 北本市の公共施設の現状と
将来展望
・ 産業振興条例と産業振興審
議会
・ 北本市の教育・生涯学習政
策
金子真理子（民主北本）
・ 財政状況予測と後年度事業
予定
・ バス路線の整備
・ 郷土芸能の保存
他2件

岸 昭二（公明党）

- ・ 東日本大震災の被害を踏ま
えた学校施設の整備
- ・ 学校給食
- ・ 市民の復興ボランティア意
識の積極的な推進

他1件

福島忠夫（平成会）

- ・ 活力のあるまちづくり
- ・ 市民税減税
- ・ 安全と道路整備

大嶋達巳（政策北本）

- ・ 下水道
- ・ 自動体外式除細動器（AED）
・ 防災

他1件

高尾橋

問1 整備について

答1 高尾橋は荒川の増水時には水没する冠水橋です。建設から30年以上が経過しており、昭和56年に荒川の増水で大きく橋が損傷し、橋の上部架け替え等の補修

工事をしていきます。

平成21年に橋の現状調査を行ったところ、早急に改修する必要はないとの結果になりましたが、橋脚の鋼材の腐食は確実に進行していますので、安全面を考慮し、予算を確保し、補修していきたくと考えています。

問2 コンクリート橋への架け替えは

答2 鴻巣市の原馬室橋は、平成13年に台風によって流

されたため、国の災害

復旧事業の対象となったものです。高尾橋は流されていないため、架け替えとなると、国からの補助金や起債等も難しいと思われます。費用については、1億円以上の事業費が必要になると考えており、早急な架け替えは難しい状況です。



台風の影響により通行止めとなっている高尾橋

石戸城復元と地域のまちづくり

問1 どのような城なのか

答1 石戸城跡は現在の石戸宿6丁目に所在し、北は桜土手に接し、西は天神下グラウンドを眼下に見据え、東は自然学習公園の湿地を隔て北里生物製剤研究所を

望む台地上に位置していま

す。過去に3回の小規模発掘で15世紀後半の遺物が確認されています。戦国時代の城は戦いが主たる目的のため砦のイメージに映りますが、中世では現在規模を確認できる北足立地方最大の城です。徳川家康の関東入国後ほどなく廃城になったと考えられますが、遺構の残存状態は良好と思われる。県の選定重要遺跡になって

おり、慎重な取扱いを求め

られています。試掘結果を踏まえ県と十分協議していきます。

あえず今回試掘調査を行い、

どういう城跡であったのかをつかんだ上で、跡地の整備と合わせ石戸宿のまちづくりについて考えていきたいと思っています。

問3 地域の人を交えた検討協議会の立ち上げは

答3 しかるべきときに、有識者や地域の方も含めた協議会をつくり、検討を進めていきたいと考えています。

傍聴のご案内

議会では、皆さんの生活に密着した重要な問題を審議しています。身近な市政を知るためにも、議会を傍聴してみませんか。

次回の定例会は、

11月30日(水)

開会の予定です。

- 渡邊良太(無所属の会)
- 北本駅前活性化と新駅設置に関する市民合意
- 市道2355号線、東小学校の児童通学路の安全性
- 市民と創る、開かれた新庁舎建設について

他1件

- 黒澤健一(平成会)
- 北本駅東口駅前通りの整備とまちづくり
- 北本市の土地利用計画見直し
- 市制施行40周年及び会津坂下町姉妹都市20周年事業

総務文教

Q．一般会計の予算現額と歳入決算額に約30億円の差が生じる理由について

A．予算現額は当初予算180億3,300万円に、新たな交付金事業等による補正予算30億5,759万6,000円が加わり現年度予算となります。これに平成21年度からの繰越事業費約29億5,639万円等が加わり、240億5,876万2,600円となっています。このうち、現年度事業の一部が年度内に完了せず、翌年度への繰越明許費となること等により、事業財源である国庫支出金や市債の未収額が増え、収入済とならなかったことから、予算現額と歳入決算額に大きな差が生じました。

建設経済

Q．太陽光発電システムの設置費補助の申請状況について、また、国・県にも同様の補助制度は設けられているのか

A．住宅用太陽光発電システム設置費補助制度については、昨年度40件分、200万円の補助金を計上していました。6月1日から申請を受け付けましたが9月6日には計上分すべての申請をいただいたところです。また、同様の助成制度は国や県にも設けられております。助成の基準が北本市とは異なり、本市が1件につき5万円の一律助成なのに対して、埼玉県では太陽光発電システムの出力1キロワットに対して4万円の補助で、上限が3.5キロワットまで、額面での上限は14万円となります。また、国については、1キロワットあたり4万8千円の補助で、上限が10キロワットまで、額面での上限は48万円となっています。

保健福祉

Q．特定健康診査事業費に関して、受診率及び受診後の保健指導について

A．平成20年度、特定健康診査を開始して、平成24年度には全国的に65%の受診率を目指すということで実施をしていますが、本市では、20年度が37.4%、21年度が36.4%、平成22年度についてはまだ速報値ですが、36.7%という受診率です。埼玉県の市町村国保の平均32%より高いですが、目標には及ばないという状況です。特定健康診査を受けた後の健康度のアップということでは、受診された方に対して、保健事業として実施した食ササイズ教室や、健康づくり課で実施している糖尿病予防教室のご案内を行っています。特定保健指導については非常に利用率が低い状況です。昨年度、平成20年度に健診を受けた方たちの中で、糖尿病の指標が高かった方たちのその後2年間に追跡調査しました。その結果、要医療となったが、治療しなかった、放置をしていた方たちの中で155人を追跡したところ、12人が虚血性心疾患や脳血管疾患の発作を2年間で起こしているということが判かりました。注意喚起のため、健診の受診券の送付にあわせて情報提供いたします。

建設経済常任委員会にて西口駅前広場改修工事を視察しました



特別委員会の報告

庁舎等建設特別委員会

(仮称)こどもプラザの敷地については、庁舎と同一敷地に計画することが最も有効な方法であるとのことから、同一敷地内に建設することに決定しました。また、本委員会の所管事項として、新たに(仮称)こどもプラザの建設に関する件が追加されることから、本委員会の名称を庁舎建設特別委員会から庁舎等建設特別委員会に変更することとなりました。

主な提出案件の結果一覧(9月定例会)

| 議案名 | 議決結果 | 平成会 | 公明党 | 政策北本 | 日本共産党 | 無所属の会 | 市民の力 | 民主北本 |
|---|------|-----|-----|------|-------|-------|------|------|
| 平成22年度北本市一般会計歳入歳出決算の認定について | 認定 | | | | × | | | |
| 平成22年度北本都市計画事業久保特定土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算の認定について | 認定 | | | | × | | | |
| 平成22年度北本市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について | 認定 | | | | × | | | |
| 北本市職員定数条例の一部改正について | 可決 | | | | | | | |
| 北本市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部改正について | 可決 | | | | | | | |
| 北本市税条例等の一部改正について | 可決 | | | | | | | |
| 北本市都市計画税条例の一部改正について | 可決 | | | | | | | |
| 北本市住民基本台帳カードの利用に関する条例の一部改正について | 可決 | | | | | | | |
| 北本市総合福祉センター設置及び管理条例の一部改正について | 可決 | | | | | | | |
| 北本市行政・文化拠点特別用途地区建築条例の制定について | 可決 | | | | | | | |
| 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正について | 可決 | | | | | | | |
| 北本市スポーツ振興審議会条例の一部改正について | 可決 | | | | | | | |
| 市道の路線の認定について(議案第59号)及び(議案第60号) | 可決 | | | | | | | |
| 市道の路線の廃止について(議案第61号)及び(議案第62号) | 可決 | | | | | | | |
| 教育委員会委員の任命について | 同意 | | | | | | | |
| 固定資産評価審査委員会委員の選任について | 同意 | | | | | | | |
| 平成23年度北本市一般会計補正予算(第3号)及び(第4号) | 可決 | | | | | | | |
| 和解することについて | 可決 | | | | | | | |
| めざせ日本一、子育て応援都市宣言に関する決議 | 可決 | | | | | | | |

* 上記以外に10件の議案審議がありました。いずれも挙手全員により原案のとおり認定・可決しています。

は議案に対して賛成の会派
 ×は議案に対して反対の会派
 は議案に対して賛成と反対のあった会派

各会派の議員数 平成会【6人】、公明党【3人】、政策北本【3人】、日本共産党【2人】、無所属の会【2人】、市民の力【2人】、民主北本【2人】



桶川市砂川委員長と「議会広報誌の意見交換」を開催した。一般質問の記事は、質問者の質疑を質問者の責任で大胆にスペースを開放しており、過激な見出しや質問者寄りの原稿は、そのまま掲載されている。掲載の順序は一般質問の通告順で、同じ趣旨の質問内容が重複することもある。編集委員会は、議会広報誌と市民参加をテーマとして、仙台市に行政視察をしたとのこと。

他市の人からの助言や意見交換は内容を充実させる上で必要性を実感した。北本市の特徴ある議会報告を目指していくことを参加者で誓い合った研修でした。

議会だより編集委員会視察報告

編集後記

北本市は今まで、子育てナンパワウン都市をめざし、未来を担う子どもたちの為に、地域における子育て支援の充実に取り組んできました。

市制30周年には、北本市児童憲章を制定しました。そして、保育サービスの充実を図り、待機児童ゼロをめざすと共に、児童館や子ども図書館等の整備事業にも着手し総合的な子育て支援策を展開しています。

市議会は、市制40周年となることを契機に、子育て応援都市と言われるようなまちづくりをめざし、未来を担う子どもたちの為に、議員提案で、「めざせ日本一、子育て応援都市宣言」に関する決議を全会一致で可決しました。

単なる宣言に終わることのないようこれからも頑張ってください。

(美)

議会だより編集委員

| | |
|------|-------|
| 委員長 | 黒澤健一 |
| 副委員長 | 保角美代 |
| 委員 | 高橋洋子 |
| 委員 | 中村伸治 |
| 委員 | 桂橋司 |
| 委員 | 金子達巳 |
| 委員 | 大嶋真理子 |